



平成28年2月に「特定非営利活動（NPO）法人あつま森林むすびの会」を設立し、理事長を務める大岸征二さん。大岸さんは会社員時代、町外から苦小牧の事業所へ転勤。その際にできた町内の方との縁が元で、退職後、厚真町へ移住したという。当時、趣味で木工をしていた大岸さんは、材料である木に魅力を感じ、そこから次第に森林にも興味を持ち始めた。「昔から人は、森林から木材や薪、食料を調達するなど持続可能な範囲で上手に利用し、それによって美しい風土が守られてきました。しかし今は、森林とのつながりが希薄になっています。そこで、美しい厚真の風土を守るためにも、少しでも多くの人に森林の持つ魅力に気づいてもらいたいと思い、3年ほど前に、有志数人で森林の楽しさを知るきっかけを提供する活動を始めたんです」と話す。

活動はまず、町内の環境保全林に町民の方が気軽に訪れてもらえよう、散策路を整備するところから始めたとのこと。その後、地域おこし協力隊・林業支援員の永山尚貴さんが参加したところから活動も充実し、幅も広がる中、活動に賛同する参加者が増え始めたこともあって、2年前に「あつま森林むすびの会」を設立。今では約30人の会員がいるそう。

森林むすびの会は、将来、森林資源を活用した経済活動も視野に入れており、今後は社会的にも責任が増すことからNPO法人格の取得を決めた。法人化に当たって事務作業を一手に引き受け奔走したのは、地域おこし協力隊・林業支援員の黛幸治さん。「永山さんと黛さん、2人の支援員の力がなければ、法人化することができなかったと思います」と感謝を述べる。

今年は、シイタケやナメコの植菌体験ができる春の散策会やツリークライミング体験会、森林でのピクニックなどの活動のほか、木工教室なども予定しており、性別や世代を問わず楽しめるイベントを企画しているとのこと。終始穏やかな表情で、森林の楽しさについて話す大岸さん。「ぜひ皆さんに森林と触れ合ってもらい、森と人と地域を『むすび』ながら、地域の活性化に貢献していきたいです。」

美しい厚真の風土を後世に引き継ぐ



共栄

大岸

征二さん

（78歳）

ぼうさい

防災

⑫中央小学校での授業から

2月23日（火）、中央小学校2年生の生活の授業におじゃましました。災害に関わる仕事について、平時の備えの段階から災害発生時、災害発生後の時間の流れの中で、どのような職業の人たちが活躍しているのか、一緒に考えました。防災活動や災害対応、救援活動にはさまざまな人たちが関わっています。子どもたちが教えてくれたご家族の職業の中にも、災害時に仕事の一環として対応することもあれば、避難所や仮設住宅でボランティアとしてその技能が生かされていたものもありました。ぜひ、ご家庭の中でご家族の仕事や地域の中での役割についてご紹介いただければと思います。

また、災害時には小学生も活躍します。張り紙や壁新聞づくり、お年寄りへの声かけなど、たくさんの事例が伝わっています。ふだんから、家庭や学校で自立や助け合いについて教えていることでしょう。日常生活の中で自ら考え、行動することができれば、人生のさまざまなタイミング、たとえば災害時にもそれが生かされます。

開発中の防災教育教材は3月完成予定です。4月以降、子どもから大人まで広く活用され、我が家の備えや地域の備えについて、考え、行動するきっかけにつながってほしいと願っています。

■プロフィール

定池祐季（さだいけ・ゆき）

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）特任助教。

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



■ 今月の内容 ■

- ☒ I LOVE あつま・人口・世帯数 … 2～3
- ☒ スターフェスタ・ランタン祭り … 4～5
- ☒ 第4次厚真町総合計画策定通信 … 6～11
- ☒ 国民年金 … 12～13
- ☒ 3月から介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が始まります！ … 14
- ☒ 障害者差別解消法が施行されます … 15
- ☒ まちの話題 … 16～18
- ☒ お茶会ミーティングを開催します … 19
- ☒ 狂犬病予防注射を実施します … 20
- ☒ 通院交通費を助成しています … 21
- ☒ 各種相談・検査等を実施します … 22～23
- ☒ 安平・厚真行政事務組合 … 24
- ☒ 気象台からの防災メモ、登記Q&A … 25
- ☒ みんなの広場 … 26～27
- ☒ まなびや … 28～29
- ☒ 健康情報・ほけんの掲示板 … 30～31
- ☒ 情報ひろば … 32～35

■ 今月の表紙

2月16日、こども園つみきで「生け花教室」が行われ、ばんだ組の園児が生け花に挑戦しました。

園児たちは、花の茎を切ったり細い枝を剣山に挿したりするのに苦戦しつつも、先生に手伝ってもらいながら、楽しそうに花を生けていました。



2016(平成28)年3月

NO. 763

2月29日現在の人口

4,691人（前月比－8）

男 2,304人／女 2,387人

世帯数 2,122（前月比±0）